

化学品の名称	メカEDクールW-10
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2017年 2月13日

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称	:	メカEDクールW-10
製品コード	:	E-h009
会社名	:	日本メカケミカル株式会社
住所	:	愛知県豊川市穂ノ原3丁目2番23
電話番号	:	(0533) 84-3245
緊急連絡電話番号	:	(0533) 84-3245
FAX番号	:	(0533) 84-3429
電子メールアドレス	:	collect@nichi-mecha.co.jp
推奨用途と使用上の制限	:	細穴放電加工液

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類対象外
	可燃性/引火性ガス	分類対象外
健康に対する有害性	可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性/酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品物質	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	分類対象外
	有機過氧化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: ガス)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 粉塵)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分2	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1	
呼吸器感作性	分類できない	
皮膚感作性	区分1	
生殖細胞変異原性	分類できない	
発がん性	分類できない	
生殖毒性	分類できない	
特定標的臓器/全身毒性 (単回ばく露)	分類できない	
特定標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)	分類できない	
吸引性呼吸器有害性	分類できない	
環境に対する有害性	水生環境有害性・急性	分類できない
	水生環境有害性・慢性	分類できない

化学品の名称	メカEDクールW-10
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2017年 2月 13日

オゾン層への有害性

分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル

: 腐食性 感嘆符



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 皮膚刺激
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

: **【安全対策】**
 ミスト／蒸気の吸入を避けること。
 取り扱い後は、手をよく洗うこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
【応急措置】
 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
【保管（貯蔵）】
 直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管すること。
【廃棄】
 内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

【3. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別

: 混合物

成分及び含有量

化学名 又は一般名	濃度 (%)	CAS 番号	官報公示 整理番号		PRTR 法	労働安全 衛生法	毒物劇物 取締法
			化審法	安衛法			
トリエタノールアミン	0.1~1	102-71-6	(2) - 308		非該当	表示・通知	非該当
ジエタノールアミン	0.1	111-42-2	(2) - 302		非該当	通知	非該当
界面活性剤	非公開	非公開	既存	既存	非該当	非該当	非該当
防錆剤	非公開	非公開	既存	既存	非該当	非該当	非該当
防腐剤	非公開	非公開	既存	既存	非該当	非該当	非該当
消泡剤	非公開	非公開	既存	既存	非該当	非該当	非該当
水	非公開	7732-18-5	—	—	非該当	非該当	非該当

不純物及び安定化添加物

: 情報なし

【4. 応急措置】

化学品の名称	メカEDクールW-10
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2017年 2月 13日

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移す。必要に応じて酸素吸入し、医師の手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合には医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。速やかに医師の手当を受けること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 : 吸入した場合、咳、咽頭痛。皮膚に付着した場合、発赤。目に入った場合、発赤、痛み。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は可能な限り適切な保護具(手袋・眼鏡・マスク等)を着用する。
- 医師に対する特別注意事項 : 症状に応じて対症的に治療する。

【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : 周辺火災時、全ての消火薬剤の使用可。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、又は毒性のガスを発生するおそれがある。加熱により容器が爆発するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合の処置は次による。
 1. 容器を安全な場所へ移動する。
 2. 移動不可能な場合は、容器を破損しないように注水し、冷却する。
 3. 消火水や希釈水の流出による汚染に留意する。
- 消火を行なう者の保護 : 消防活動の際には風上から行い、必ず保護具を着用する。

【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際には目・皮膚・衣服との接触を避けるため、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスク等)を着用する。多量の場合、人を安全な場所へ退避させる。必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 少量の場合は吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
- 二次災害の防止策 : 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

化学品の名称	メカEDクールW-10
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2017年 2月13日

- 技術的対策 : 容器を転倒させたり、衝撃を与えるなどの粗暴な取り扱いはしないこと。
 使用後、容器は必ず密閉すること。
 目・皮膚・衣服との接触を避けるため、適切な保護具を着用すること。
 取扱い後は、洗顔及び身体を洗浄すること。
 局所排気装置・全体換気については8. 暴露防止及び保護措置を参照。
- 安全取扱い注意事項 : ハロゲン類・強酸類・酸化性物質との接触を避けること。
- 保管 : 異物混入のないよう、密封して保管すること。
 ハロゲン類・強酸類・酸化性物質との同一場所での保管を避けること。
 直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 別の容器に移し替えるときは、ステンレス・ポリエチレンを推奨する。

【8. 暴露防止及び保護措置】

- 許容濃度 [トリエタノールアミン] : ACGIH (2005年度版)
 TLV-TWA 5 mg/m³
 [ジエタノールアミン] : ACGIH (2010年度版)
 TLV-TWA 1.0 mg/m³
- 設備対策 : 換気の確保。冷乾燥場所での保管・取り扱いを行う。
- 保護具 : 簡易マスク
 呼吸器の保護具 : ゴム手袋
 手の保護具 : 側板付き普通眼鏡型
 目の保護具 : ゴム製前掛け
 皮膚及び身体の保護具

【9. 物理的及び化学的性質】

- 外観 : 淡褐色透明液体
 臭い : 微臭
 臭いのしきい(閾)値 : データ無し
 pH : 8.4
 融点/凝固点 : データ無し
 沸点、初留点及び沸騰範囲 : 非該当
 引火点 : 非該当
 蒸発速度 : 非該当
 燃焼性(固体、気体) : 非該当
 燃焼又は爆発範囲(上限、下限) : 非該当
 蒸気圧 : 非該当
 蒸気密度 : 非該当
 比重(15℃) : 1.03 g/cm³
 溶解度 : 水に可溶
 n-オクタノール/水分配係数 : 非該当
 自然発火温度 : 非該当
 分解温度 : データ無し
 粘度(15℃) : 59 mPa·s

化学品の名称	メカEDクールW-10
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2017年 2月 13日

【10. 安定性及び反応性】

化学的安定性	: 安定
危険有害反応可能性	: ニトリル類・亜硝酸と接触・混合する場合、特殊な条件のもとでの脱アルキル化によりニトロソアミンが生ずる。ニトロソアミンは動物実験で発がん性であると立証されている。
避けるべき条件	: 燃焼
混触禁止物質	: ハロゲン類・強酸類・酸化性物
危険有害な分解生成物	: 燃焼すると有毒な窒素酸化物を発生する。

【11. 有害性情報】

急性毒性 [トリエタノールアミン]	: LD ₅₀ 7, 269 mg / kg (ラット経口)
[ジエタノールアミン]	: LD ₅₀ 1, 613 mg / kg (ラット経口)
	: LD ₅₀ 8, 811 mg / kg (ウサギ経口)
皮膚腐食性／刺激性	: [トリエタノールアミン] 区分2、[ジエタノールアミン] 区分2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	: [トリエタノールアミン] 区分2A、[ジエタノールアミン] 区分1
呼吸器感作性	: [トリエタノールアミン] 分類できない、[ジエタノールアミン] 分類できない
皮膚感作性	: [トリエタノールアミン] 区分1、[ジエタノールアミン] 区分外
生殖細胞変異原性	: [トリエタノールアミン] 区分外、[ジエタノールアミン] 分類できない
発がん性	: [トリエタノールアミン] 区分外、[ジエタノールアミン] 区分2
生殖毒性	: [トリエタノールアミン] 区分外、[ジエタノールアミン] 分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)	: [トリエタノールアミン] 区分3 (気道刺激性) [ジエタノールアミン] 区分1 (肝臓)、区分3 (麻酔作用)
特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)	: [トリエタノールアミン] 区分外 [ジエタノールアミン] 区分1 (気道) 区分2 (肝臓、腎臓、血液、中枢神経系)
吸引性呼吸器有害性	: [トリエタノールアミン] 分類できない、[ジエタノールアミン] 分類できない

【12. 環境影響情報】

生態毒性	: (水生環境有害性・急性) [トリエタノールアミン] 区分外、[ジエタノールアミン] 区分2 (水生環境有害性・慢性) [トリエタノールアミン] 区分外、[ジエタノールアミン] 区分外
残留性／分解性	: 現在までのところ有用な情報無し。
生体蓄積性	: 現在までのところ有用な情報無し。
土壤中の移動度	: 現在までのところ有用な情報無し。
オゾン層への有害性	: [トリエタノールアミン] 分類できない、[ジエタノールアミン] 分類できない
他の有害影響	: 排出規制 (pH・COD・BOD・油分・窒素・燐)

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。投棄禁止。
汚染容器・包装	: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。投棄禁止。

【14. 輸送上の注意】

国際規制

化学品の名称	メカEDクールW-10
作成日	2015年 4月 1日
改訂日	2017年 2月13日

国連番号	:	非該当
品名	:	非該当
国連分類	:	非該当
容器等級	:	非該当
海洋汚染物質	:	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及び IBC コードによるば ら積み輸送される液体物 質	:	非該当
国内規制		
海上規制情報	:	非該当
航空規制情報	:	非該当
陸上規制情報	:	非該当
特別の安全対策	:	容器毎に、栓の締まり具合、漏れの無い事を確認し、容器の 転倒・落下・摩擦等損傷が無い様に積み込み、荷崩防止を確 実に行う。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法	:	労働安全衛生法施行令 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (トリエタノールアミン・ジエタノールアミン) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (トリエタノールアミン)
水質汚濁防止法	:	排水基準を定める総理府令
下水道法	:	施行令

【16. その他の情報】

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。